

目的 肩部は、上半身衣服の適合性を左右する重要な部位であり、また、上腕部を含む腕付根周辺の形態が着心地に大きな影響を与える。そこで、個々の肩部周辺の形態を捉え、さらに、それらの分類をすることによって、より良い衣服設計のための基礎情報を得ることを目的とした。

方法 部分体型を捉えるのに適している小型モアレカメラFM3013を用いて、女子学生52名の肩部(左右)を撮影した。撮影部位は、後腋窩点水平位より上部とし、カメラを、被験者に対して水平及び上方45°の2方向に設定した。各々3方向、左右で12枚の写真を資料とし、肩部形態を定性的に把握、分類した。次に、両肩部上部を同時に撮影するために、鏡を使用し、モアレカメラFM80で、人体右骨像を撮影した。そして、肩部全様を垂直方向からとらえた断面図作成を試みた。

結果 12枚のうち、特に、肩部上方45°からの写真によって、鎖骨、肩稜部後部の状態、上腕骨頭部の彎曲度等に関する個々の特徴がよく捉えられた。さらに、それらの特徴及び縞の生成状態から、肩部の分類が出来た。また、人体右骨像の肩部(左右)の横断面重合図を得ることが出来た。